

【別紙】 令和5年度 学校 自己評価重点目標シート （川口市立仲町中学校）

（A４判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	『光る汗』『豊かな心』『拓く夢』
目指す学校像	笑顔と規律と彩りのある学校 へ知・徳・体のバランスのとれた教育活動を通して、保護者・地域に信頼され、夢や希望を語り、一人一人の笑顔が輝く学校～

達成度	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	４名
事務局（教職員）	３名

領域	学校自己評価			
	年度目標			年度評価（令和 6 年 1 月 2 9 日 現在）
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況
組織運営	目指す学校像を具現化するための組織運営がバランスよく行われるための組織づくりを見直し、学力向上、外国籍生徒支援、不登校生徒支援をはじめとした学校の重点課題解決のための学校運営を進めていくことが求められている。	○全教職員で目指す学校像を共有し、「学力向上、外国籍生徒支援、不登校生徒支援」という学校重点課題の解決にあたる気持ちの醸成を図る。	○学校経営方針を各所にリンク、浸透させ、学校課題解決のための手立てを教職員の自己評価シートに明記させ、取り組ませる。	○学力向上について、県学調では一定の成果がみられた。「目指す学校像」について機を捉え、広く広報し、組織での課題解決にあたった。
		□生徒指導、教育相談、特別支援、通級指導教室、日本語指導等、全ての教職員が一丸となって教育活動に参画する教職員集団をつくる。	□管理職が率先して情報の収集や個別の対応、支援方針の確認にあたり、適材・適所として教職員がそれぞれの立場で取り組めるようにする。	□管理職もフットワークよく教職員と共に、様々な対応について取り組み、教職員に範を示し、対応スキルを習得させ、人材育成に努めた。
		◇不登校等、様々な課題がある生徒について、関係機関との連携強化等をもとに、本人、家庭、学校、地域が協力して自己決定実現とそれぞれのニーズに応じた支援100%を実現する。	◇専門機関や外部機関と連携を強化し、個に応じた適切な対応をする。	◇生徒一人一人の課題を洗い出しながら、関係各課と情報交換や連携を密に行った。しかし、支援率100%には至らなかった。
教育課程	ポストコロナの時代となり、今までの教育活動や学校行事を段階的に精査し、かつ効率的で効果的な教育活動の見直しが求められている。	○ポストコロナに対応した教育計画を、常にPDCAの視点で適切に見直す。	○計画的な教室訪問や授業観察を行い、学校課題解決への取組状況の把握、情報提供等、教職員を支援する。	○毎日、子供たちや教室の様子を確認し、教職員と継続的に実態把握、情報共有、支援にあたった。
		□本校の教育課題解決に向けた教育活動を実践する。	□各分掌主任を活かし、生徒の安心・安全を第一に、ポストコロナに対応した適切な教育活動と状況に応じた対応を精査、検討し具体的に指示・展開する。	□ポストコロナ、新たな教育課程編成について、行事の在り方や授業時数について精査・検討を繰り返し行い、改善した。
		◇	◇	◇
開かれた学校づくり	昨年度まで、コロナ禍の中で地域との連携が一時的に遮断されていたので、あらたな家庭・地域との連携体制を構築していくことが求められてい	○地域の子供たちのために家庭・地域との連携体制の構築により、保護者・地域に愛され、地域と一体となった学校づくりを推進する。	○地域の小・中学校との小中連携を推進し、学習指導、生徒指導連携を密にし、学校課題解決にあたる。	○夏季研修や授業参観等、生徒指導、教育相談、引き取り訓練、日本語指導、教育課程編成等について常に情報共有し、協同的な活動ができた。

学校関係者評価	
※実施日	令和 6 年 2 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・特になし	
・特になし	
・校長から依頼があった、不登校生徒の学習支援や日本語指導のボランティアについては、地域に働きかけてみたがこの時代無償では難しいこと、引き続き市教委へはたらいきかけていくことが望ましいというご意見を頂戴した。	
・特になし	
・授業数確保は大変だが、全校集会等を計画的に行い、子供たちの心に訴える道徳的心情が育つような講話の機会をもってはどうか、というご意見を頂戴した。	
・	
・小・中連携は先生方だけでなく、保護者も必要である。情報が入らない外国籍生徒の保護者のために、これからもできることがあるので日本語の困難度等共有して欲しい、というご意見もいただいた。	

	る。 外国籍生徒の増加に伴う多文化共生の学校づくりも課題となっている。	<input type="checkbox"/> 外国籍生徒の支援体制の構築と、地区小・中学校との連携を推進する。 <input type="checkbox"/> 家庭・地域と一体化した取組を実施する。	<input type="checkbox"/> 学校だより、学校HP、一斉メール等、開かれた学校として家庭や地域に積極的に情報を発信する。 <input type="checkbox"/> 学校経営方針具現化にむけて、三者会議や学校運営協議会、PTA等が協働的活動を実施する。	<input type="checkbox"/> 学校HPを1日1回更新し、写真を活用しながら最新の情報提供を行った結果、子供たちはもちろん、保護者や地域の方々からメッセージが届いた。 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会、三者会議等、計画的に実施した。本校の教育活動や、学校経営についてご助言をいただいた。	A B	的に子供たちの指導に役立つ情報共有や、不登校支援等、学校課題解決の一助となるよう取り組んでいく。	・学校HPは、写真がポイントであろう。限定ログインできるページもあってよいのではないか。というご意見をいただいた。 ・次年度は本校創立70周年の準備の年であるので、機を捉え、皆で検討していく。
教職員の資質向上	経験に応じた教職員の育成とともに、授業力の向上（授業スタイルの工夫改善やGIGA端末の効果的な活用など）が求められている。 また、全県をあげて、教育公務員として、教職員不祥事根絶、教職員事故ゼロへの取組が求められている。	<input type="checkbox"/> 目指す学校像をキーワードとして、生徒・保護者・地域から信頼され、やりがいと誇りをもって仕事にあたる、一人一人の笑顔が輝く教職員育成を実現する。 <input type="checkbox"/> 教職員不祥事根絶、職員事故ゼロを実現する。	<input type="checkbox"/> 初任者、若手、ベテラン等、個に応じた声を丁寧にかけてながら風通しの良い学校経営を行う。研修を充実させ、教職員が笑顔で、自己肯定感を高め、やりがいを感じられるよう支援する。 <input type="checkbox"/> 職員集会や打ち合わせ時に教職員事故防止に向けた具体的な事例を示し、教職員一人一人が「自分ごと」として捉える」「使命感と誇り」をもたせる指導・助言を行う。	<input type="checkbox"/> 日々、教職員とコミュニケーションをとりながら、丁寧に向き合い、気持ちを支えながら個々の力を発揮できる組織作りを行った。 <input type="checkbox"/> 様々な機会に、最新の情報やなぜそのような事故が発生したか、自身の過去の経験等について話題にし、年間を通じて意識付けを行った。	A B	教育課程の変更等、上手に時間を生み出しながら、今後も教職員がワークライフバランスや負担感の軽減、やりがいや意欲を高められるよう、全力で支援していく。	・特になし ・特になし
施設・設備等の管理	不審者対応、非常災害を含めた安心・安全のための施設・設備管理と事故防止の徹底が求められている。 また、GIGA端末をはじめ、情報機器等の計画的な整備管理が重要である。	<input type="checkbox"/> 学校施設、設備の適切管理で事故ゼロとし、安心・安全な教育環境を維持する。 <input type="checkbox"/> 特別教室を中心とした準備室の整備を行い、刃物等危険物の扱いや管理を徹底する。	<input type="checkbox"/> 不審者対応、地震等、非常災害発生を常に念頭に置き、緊急性・危険性のある箇所等を見極め、適切迅速に対応する。 <input type="checkbox"/> 課題点を挙げ、危険物の持ち出し防止や適切な個数管理など、継続的な実施の見届けを行う。	<input type="checkbox"/> 初めて外部指導者を招き、不審者対応避難訓練を実施した。震災時等、より実践的な避難訓練の在り方を見直し、改善点を見出した。 <input type="checkbox"/> 特別教室の備品管理について、市教委に指導をいただきながら、適切な管理のための改善を行った。	A B	不審者対応や、地震等による非常災害時を想定し、日頃から生徒が自らの安全を第一に考えて、具体的に何に注意し、どう行動しなければいけないか再度認識させる。教職員には更に高いレベルの危機管理意識をもたせ、子供たちの命を守る災害対応訓練に取り組む。 また、特別教室の備品管理は何かどこにいくつあるかが課題であるので、後回しにせず、廃棄計画も含め、見直しをもって確実に取り組む。	・震災や非常災害など、日頃からの備えが重要である。子供たちだけでなく、地域も避難所開設の会議をその機会とし、今後も継続して行う。 ・特になし ・端末の破損対応、容量の不足が学習面に影響していると考える。今後も市教委に更なる働きかけをして欲しい。というご要望をいただいた。